



学校だより 『四十万の丘』

金沢市立四十万小学校
令和7年12月25日
第14号
校長 後山 利佳

校長 後山 利佳

☆来年2026年が、よい年になりますように

長かった2学期も、いよいよ終わりを迎えました。23日、24日は、個人懇談会にお越しいただきありがとうございました。2学期のお子さんの様子について、お伝えすることができたでしょうか？限られた時間の中での懇談となり、十分にお伝えできなかつたこともあったかと存じますが、ご容赦ください。また、何か気になる点などございましたら、学校にお問い合わせください。

さて、2学期は、マラソン記録会、合宿や遠足、連合体育大会や連合音楽会、生活科や総合の校外学習など、さまざまな行事を通して、子どもたちは大きく成長しました。結果だけでなく、そこに向かって努力する姿や、友達と力を合わせる姿が、学校のあちらこちらで見られたことを、大変うれしく思っています。また、日々の学校生活の中では、運営委員を中心に全校でいさつが進んでできるように取り組んだり、授業の中で友達と意見を交流しあいの考えを聴き合ったりと、さまざまなコミュニケーション活動が成長の積み重ねとなり、生きる力につながっていくと考えます。子どもたちには、この2学期を「あゆみ」や金沢リフレクション等を通じて、物事をしっかりとやりきった達成感や満足感、誰かの役に立ったという自己有用感など、さまざまな教育活動で感じたことをしっかりと振り返り、3学期につながるよう働きかけていきたいと思います。ご家庭でも、ぜひお子さんと一緒に振り返っていただき、頑張りを認め、次につながるようお話しいただければ幸いです。

明日から冬休みになります。ご家庭でゆっくりと過ごしながら、家族との時間を大切にし、心と体をしっかりと休めほしいと思います。3学期は、今の学年のまとめと、次の学年へ向けた大切な時期です。新しい年も、教職員一同、子どもたち一人一人に寄り添いながら教育活動に取り組んでまいります。

☆失敗は、成功のもと。失敗をおそれず、チャレンジしよう！

よくがんばった2学期ですが、子どもたちの中には「失敗したら怒られる」「うまくいかなかつたらどうしよう」「みんなに笑われるかも」という気持ちをもっている子もいると感じています。まだまだ成長中の子どもたちです。

人は失敗を繰り返しながら成長していきます。時には、子どもたちの挑戦に背中を押していたり、うまく行かないときには、なぜうまくいかなかつたのかをお子さんと一緒に考えたりしていただき、ぜひ次に踏み出す一歩につなげてください。多くの可能性を秘めている子たちが、試行錯誤を繰り返し成長していく姿を学校、家庭で一緒に見守っていきたいと思います。



＜校長室の一コマより＞

毎年この季節になると、長休みと春休みに、2年生の子どもたちが校長室を訪ねてきます。「校長先生、九九を聞いてください。」と、始まる九九の練習。間違えないように一生懸命唱える姿や、言い終わつた後にはほつとした表情を見せる様子に、こちらまで温かい気持ちになります。中には、途中でつまずいてしまう子もいましたが、あきらめずに何度も挑戦しています。その姿から、「できるようになりたい」という強い思いが伝わってきました。九九は、これから学習の土台となる大切な力です。それと同時に、努力を続けることの大切さも、子どもたちは学んでいます。校長室での小さな一コマですが、2年生の成長を感じる時間でした。



☆保護者アンケートのご協力ありがとうございました。

お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。たくさんのお貴重なご意見いただきましたこと、ありがとうございました。職員で課題を分析し、今後の教育活動に役立てていきたいと考えます。結果につきましては、学校だよりで紹介していきます。

冬季休業中の緊急連絡について

冬季休業中の学校への連絡は、8:10～16:40の間にお願いします。※土日、祝日、学校閉学日（12/27～1/4）を除く



今年1年、育友会、地域コーディネーター、各ボランティアの皆様等、多くの方々に支えていただきました。改めて感謝申し上げます。皆様にとって、心温まる年末年始でありますことをお祈りいたします。よいお年をお迎えください。